

現場レポート

新型コロナウイルス感染症予防対策点検を実施しました  
～フェリー・旅客船における感染症予防に向けて～

九州運輸局運航労務監理官は、旅客船事業者の新型コロナウイルス感染症予防対策を確認することを目的として、7月1日（水）から10日（金）までの間、「新型コロナウイルス感染症予防対策点検」と位置づけ、期間中、九州運輸局管内において、フェリー・旅客船41隻に対する立入り点検を実施しました。

また、旅客航路事業者152社（者）に対し自主点検の実施を依頼し、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図りました。



「点検班も手を消毒して点検を開始」



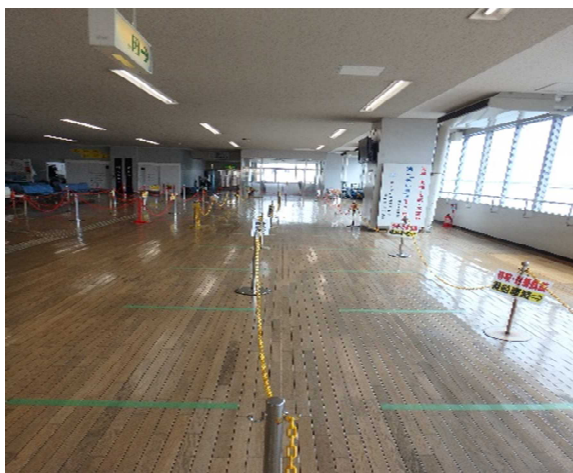
「点検班もマスク着用し書類確認」



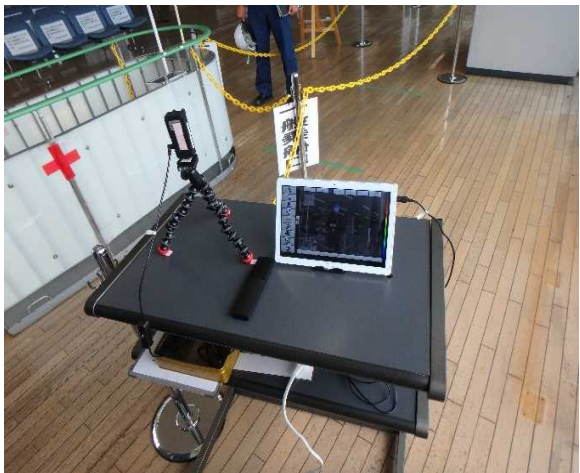
「各種掲示、消毒液・飛沫防止カーテンの設置」



「ソーシャルディスタンスの措置（着座禁止を表示）」



「改札旅客の間隔をとるための目印の設置」



「改札の前に設置されたサーモグラフィー」